

## 専任教員教育研究業績

平成 29 年 5 月 10 日

氏名	ふりがな	所属学科	職 位	性別
佐藤みどり	さとうみどり	保育学科 通信教育課程	教授・准教授・講師・助教	男・♀
担 当 科 目 名			学 内 委 員 会 等 (委員長)	
身体表現Ⅰ 身体表現Ⅱ 健康・スポーツ実技				
学 歴				
和暦 (西暦) 年 月	事 項			学位
昭和 52 (1977) 年 3 月	秋田大学教育学部中学高校教員養成課程保健体育専攻 卒業			学士 (教育学)
昭和 56 (1981) 年 3 月	お茶の水女子大学大学院人文科学研究科修士課程 (舞踊教育専攻) 修了			修士 (文学)
昭和 60 (1985) 年 4 月	千葉大学医学部第 2 生理学研究室・研究生 (～昭和 61 年 3 月)			
平成 26 (2014) 年 4 月	放送大学 大学院修士課程 (人間発達科学) 入学			
平成 28 (2016) 年 10 月	放送大学 大学院修士課程 (人間発達科学) 休学 (～現在に至る)			
教 育 歴 ・ 職 歴				
名 称	期 間	教 育 内 容 又 は 業 務 内 容		
埼玉大学教育学部 (非常勤講師)	平成 7 年 4 月 ～平成 7 年 9 月	「ダンスⅠ」担当		
群馬大学教育学部 (非常勤講師)	平成 11 年 4 月 ～平成 13 年 3 月	「シズンスポーツ・ダンス」担当		
国際武道大学体育学部 教授	平成 12 年 4 月 ～平成 24 年 3 月	「基礎ダンス指導法」「身体表現論」「卒業演習」担当 (大学院) 平成 20 年 4 月～「身体表現論特講・特演」担当		
国際武道大学体育学部 (非常勤講師)	平成 24 年 4 月 ～現在に至る	(大学院)「身体表現論特講」担当		
田園調布学園大学子ども 未来学部 (非常勤講師)	平成 27 年 4 月 ～現在に至る	「子どもと身体表現Ⅰ・Ⅱ」担当		
淑徳短期大学子ども学科 (非常勤講師)	平成 29 年 4 月 ～現在に至る	「身体表現」担当		
所 属 学 会 等				
名 称	活動期間	活動内容 (役職等の活動を含む)		
日本体育学会	昭和 55 年 4 月～現在	大会参加・口頭発表		
舞踊学会	平成 4 年 10 月～現在	大会参加		
日本教育大学協会	平成 12 年 10 月～現在	大会参加・口頭発表		
社 会 活 動 等				
名 称	活動期間	活 動 内 容		
(社) 現代舞踊協会会員	昭和 59 年 4 月～現在	舞踊情報センター副部長 (平成 20 年 8 月～22 年 3 月)		
(社) 日本女子体育連盟 授業研究グループ	平成 3 年 4 月 ～平成 10 年 3 月	(平成 8 年 4 月～10 年 3 月本部役員)		
夏期講座 C コース (中学校・高等学校)	平成 17 年 8 月 平成 18 年 8 月	(社) 日本女子体育連盟主催 平成 17 年度・18 年度 ダンス実技講習講師		
小学校体育授業に役立つ 研修会「表現運動」	平成 19 年 8 月	神奈川県立体育センター主催 平成 19 年度 実技講習講師		
ジュニア舞踊公演 明日の新人公演	平成 20 年 8 月	(社)現代舞踊協会主催 ジュニア賞および明日の新人賞選考委員		
平成 22 年度教員免許状更新 講習「小学校教諭および 中学・高校保健体育教諭」	平成 22 年 8 月	選択領域 (18 時間) の講習を国際武道大学において実施。 「表現運動・創作ダンス授業に対応できる指導力の養成」 担当		
保健師対象実技講習 (高齢者のための健康づくり)	平成 24 年 12 月	千葉県いすみ市役所健康高齢者支援課健康づくり班主催 実技講習講師		
平成 27 年度教員免許状更新	平成 27 年 7 月 27 日	【必修領域 12 時間】幼稚園をめぐる教育の最新事情		

講習 (10年経験者研修)		「子どもの身体表現に関する理論と実践」(講義) 俯瞰番号 C1-I C3-I 文科省認定番号 平 27-81340-00671 号 主催:公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児 教育研究機構		
舞踊作家協会	平成 28 年 9 月～現在	協会員 (出演・出品等)		
担当教科目に関する資格・免許等				
名称	取得年月	取得機関		
小学校教諭 1 級普通免許状	昭和 52 年 3 月	秋田県教育委員会 (昭 51 小 1 普第 218 号)		
中学校教諭 1 級普通免許状 (保健体育) 高等学校教諭 2 級 普通免許状 (保健体育)	昭和 52 年 3 月	秋田県教育委員会 (昭 51 中 1 普第 220 号) 秋田県教育委員会 (昭 51 高 2 普第 139 号)		
研究実績に関する事項				
代表的な著書、論文等の名称	単著 共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1.明日からトライ! ダンスの授業「視線のゆくえ～イン・フォーカスアウト・フォーカス～」	共著	平成 23 年 9 月	大修館書店 総ページ 159	ダンスの必修化に向けた中学校を対象にした指導法の提示。創作ダンス学習における発展的段階の視線で表現空間を広げる課題である。(分担)110-111 編者:全国ダンス・表現運動授業研究会
(学術論文) 1. 創作ダンスにおける学習者の技能評価・技能評価規準作成の試み	共著	平成 17 年 5 月	舞踊学研究 第 7 号: 3-17	現場のダンス授業に直接役立つ資料を得る目的で、中学校のダンス初心者生徒を対象に、ダンスの技能特に踊る力を評価する規準表 10 項目を試案として作成した。
2.ダンス分野における質的研究の可能性	共著	平成 18 年 3 月	国際武道大学 研究紀要 第 21 号: 33-41	ダンスに関する研究において、これまで主流をなしてきたダンスの量的研究に加え、質的研究の可能性を示すことで芸術と科学の統合をめざそうとするものである。
3. ダンスレッスンにおける言語的フィードバックに関する一考察-ダンサーの内省記録に着目した事例	共著	平成 19 年 3 月	国際武道大学 研究紀要 第 22 号: 77-88	ダンスの基本的レッスンと舞台活動を継続している男性ダンサー R.F の内省記録に着目し、初心・初級・中級段階における言語的フィードバックの変容を明らかにすることで、ダンス指導法の一資料を得ることを目的とした。
4. ①保育者養成課程における身体的表現活動に関する学習内容の検討	共著	平成 20 年 3 月	国際学院埼玉短期 大学研究紀要 第 29 号: 101-108	① 保育内容「表現」として相応しい身体表現の授業を実施する目的で、先行研究等から資料を得て、幼稚園と保育園の保育内容について比較検討を行った。
②保育者養成課程における身体的表現活動に関する学習内容の検討 II・学生の内省記録に着目した事例	共著	平成 21 年 3 月	国際学院埼玉短期 大学研究紀要 第 30 号: 27-37	② 学習者の身体表現に対する「恥ずかしさを払拭する手がかりを、内省記録から探った。実技試験の実施等が有効である可能性が示唆された。
5.ダンサー R.F の技能習熟過程に関する事例研究-10 年間に	共著	平成 22 年 3 月	国際武道大学 研究紀要 第 25 号: 55-67	ダンスの習熟過程を追跡した質的研究である。基本レッスンと舞台活動を継続している男性ダンサー 1 名の 10 年間におよぶ練習日記に着目し、指導者

<p>及ぶ練習日誌から資料を得て-</p> <p>6. アクティブラーニング学習効果尺度作成の試み～音楽・造形・身体表現系と障害児保育演習授業に着目して～</p>	<p>共著</p>	<p>平成 29 年 4 月</p>	<p>小田原短期大学 研究紀要第 47 号 : 56-63</p>	<p>から受け止めた助言の変容を詳細に分析することで、ダンスの技能習熟課程を明らかにし、ダンス指導法研究の一助とした。</p> <p>表現系（造形・音楽・身体）授業等のアクティブラーニング学習効果尺度を作成し、その信頼性と妥当性を検討した。その結果、アクティブラーニング型授業を受けることで、学びを通して保育士になることを強く意識し、「自己成長」「学習意欲」「学習意欲」「専門知識の探求」の 4 因子が見いだされた。</p>
<p>(報告書)</p> <p>1. 教師のことばがけから始まるダンスの授業-学生同士が身体で語り合うまで-</p> <p>2. ゆだねる身体・かわる身体-イメージの共有から生まれる 相互作用</p> <p>3. シンポジウム「動きから身体・人間の可能性を探る」要旨</p>	<p>単著</p> <p>単著</p> <p>単著</p>	<p>平成 17 年 6 月</p> <p>平成 19 年 9 月</p> <p>平成 20 年 3 月</p>	<p>女子体育 47(6):44-47</p> <p>女子体育 49(9):26-31</p> <p>武道・スポーツ科学研究年報 第 13 号 : 170-182</p>	<p>教員養成のためのダンス実技授業において、導入段階の指導言語と学生の反応を詳細に記述し、どのように学習者が“身体表現”の世界に引き込まれていくかを分析した。</p> <p>体育大学の専門科目としてのダンス授業を紹介し、身体教育の意義について論じた。“脱力”を、水の入った袋を観察・一体化することで体験させる「体ほぐし」の学習の実践報告。</p> <p>身体科学会でのシンポジウム内容を記載した。モダンダンス（現代舞踊）とは何か、という定義づけに始まり、現代舞踊の特性から、人間のもつ発信力・受信力について考察を加えた。(分担) 174-176</p>
<p>口頭・ポスター発表</p> <p>1. ダンスレッスンにおける言語的フィードバックに関する一考察-ダンサーの内省記録に着目した事例-</p> <p>2. How to Evaluate Creative Dance: Comparative Study between Teachers and Learners 「創作ダンスにおける学習者の技能評価—技能評価基準作成の試み—」</p> <p>(講演等)</p> <p>1. 現代舞踊の動きの特質と身体表現が目指すもの</p>	<p>共同</p> <p>共同</p>	<p>平成 18 年 5 月</p> <p>平成 29 年 5 月</p> <p>平成 19 年 12 月</p>	<p>千葉県体育学会 平成 18 年 前期発表会 (於：千葉大学)</p> <p>International Association of Physical Education and Sport for Girls and Women(IAPESGW) World Congress (第 18 回国際女子体育会議・Barry 大学) マイアミ・アメリカ</p> <p>人体科学学会 第 17 回大会 (於：国際武道大学)</p>	<p>ダンス初心者の 4 年間におよぶ内省記録から、初心者の段階では、“大きく思いきり身体を動かす”に類する指導助言が有効であり、中級者の段階では“動きの流れ、つながり”に類した指導助言が有効に働くことが明らかになった。</p> <p>身体表現やダンスにおいて熟練した指導者と未熟練者の VTR 鑑賞からの評価を比較検討した。その結果、熟練指導者は評価基準（細川らの試案）に沿って多角的な観点から子どもたちの動きを評価し、未熟練者は各人で評価観点が偏る傾向がみられた。身体表現やダンスの指導では、多角的・具体的に動きや作品を評価する能力が必要であり、細川らの評価基準 12 項目が有効であると判明した。</p> <p>「動きから身体・人間の可能性をさぐる」をメインテーマに①科学における人間の動き②伝統における人間の動き③身体表現論と文化論からみた人間の動きの 3 部門に分かれ、研究発表とディスカッションを展開。「現代舞踊の動きの特質と身体表現が目指すもの」と題し、現代舞踊の歴史、創作過程におけるコミュニケーションに関する口頭発表と舞踊作品の実演を担当した。</p>

(舞踊歴) 1. 新鋭・中堅 舞踊家による現代舞 踊公演	群舞 (合同)	平成 18 年 6 月	(東京芸術劇場 中ホール)	[平成 18 年度文化庁芸術団体人材育成支援事業] (社)現代舞踊協会主催 創作作品:「傘ノ下ニ」 振付・出演 (6 月 9 日)
2. 全国舞踊コンク ール上位入賞者による アンコール公演	群舞 (客演)	平成 19 年 8 月	(めぐろパーシモン 大ホール)	東京新聞主催 創作作品:「存在は幻影をまとう」 (創作舞踊部 第 3 位受賞) 振付・出演 (8 月 11 日)
3. 時代を創る現代 舞踊公演	群舞 (合同)	平成 20 年 9 月	(東京芸術劇場 中ホール)	[平成 20 年度文化庁芸術団体人材育成支援事業] (社)現代舞踊協会主催 創作作品:「私という名の隣人～Who are you? ～」振付・出演 (9 月 16 日)
4.Vibrate'09 つなが る水～水の都市アム ステルダムー東京～	群舞 (客演)	平成 21 年 3 月	(アサヒ・アートス クエア)	[日本・オランダ年 2008-2009 認定事業] オランダ王国大使館協賛 創作作品:「つながる水 ～水の都市アムステルダムー東京～」 出演 (3 月 5/6 日)
5.HITEN PROJECT FINAL 「散華の 瞬間 (とき)」	群舞 (客演)	平成 22 年 1 月	(新国立劇場 小劇場)	イシグロダンスシアター主催 宇宙航空研究開発機構 [JAXA] 協力 創作作品:「“HITEN PROJECT FINAL” 『散華の瞬間 (とき)』」 出演 (1 月 8/9 日)
6.現代舞踊展 2011	群舞 (合同)	平成 23 年 7 月	(メルパルクホール TOKYO)	東京新聞主催 創作作品:「田園」 振付・出演 (7 月 8 日)
7.Dance Performance Free Package vol.31	群 舞 (合同)	平成 24 年 9 月	(六本木 俳優座劇場)	Sun Arts produce 創作作品:「someday」 振付・出演(9 月 19 日)
8. 現代舞踊展 2013	群舞 (合同)	平成 25 年 7 月	(メルパルクホール TOKYO)	東京新聞主催 創作作品:「飼いならされたコトバたち」 振付・出演 (7 月 13 日)
9.詩とモダンダンス (谷川賢作さんの 指に生まれ)	群舞 (客演)	平成 26 年 5 月	(名古屋・ うりんこ劇場)	水内喜久雄 produce 創作作品:「このカフェには迷路が・・・」 振付・出演(5 月 10 日)
10.現代舞踊展 2015	群舞 (合同)	平成 27 年 7 月	(メルパルクホール TOKYO)	東京新聞主催 創作作品:「存在は幻影をまとう」(初演 2007 年) 振付・出演 (7 月 11 日)
11.DANCE 夢洞楽 2016	群舞 (合同)	平成 28 年 8 月	北沢タウンホール	Project NAO Presents 創作作品:「Orderly days～名もなき日々～」 振付・出演 (8 月 9 日)
12. 日仏友好コンサ ート舞踊作家協会 特別公演 パリ、トキ ョー、ミュージック・ダンス 2016	群舞 (合同)	平成 28 年 10 月	(豊洲文化センター)	舞踊作家協会連続公演 N0.177 作品:「愛 3 題」 振付: 石黒節子 出演: (10 月 31 日)
13.Oh!?Dance2016	群舞 (合同)	平成 28 年 12 月	(恵比寿・エコー劇場)	Sun Arts produce 創作作品:「東京～止まない雨～」 振付・出演 (12 月 10 日)

その他 (表彰等)		
-----------	--	--